

吹田市のいじめ対策・教育委員会

発生した事象に対する「他人事の仕事ぶり」

吹田市古江台小学校の（この「古江台小」は、インターネットで特定された）1年生の女の子が、悪ガキ5人組に苛められて、骨折までして、家から出られなくなった。リーダーは知的障害があったともいう。当然傷害罪であるが、子供のしたことだというなら、なんのための保護者なのか？ 当然保護者がその責を負うべきだろう。

そもそも担任の教師の怠慢から、なんら有効な手段もとらず、校長への報告も、校長から教育委員会への報告も遅れ、警察へも情報が伝わらなかった。

担任の教師のフルネームも報道されず、（地元は当然知っているはず）もしこの教師が転勤でもしたら、新たな被害者を作ってしまう可能性がある。おそらく、30代後半か40代前半あたりで、自分は優秀と「誤解」している女教師の可能性が高い。

この女の子の怪我が報道されてから1か月ではすまないだろう、少なくとも2か月は経過しているだろう、教育委員会が何らかの行動を起こしたと報道されたのは、7月28日である。内部でいろいろ検討していたというかもしれないが、被害者の子供にとっては、焦眉の急ではないか。・・・これからおもむろに（いじめを否定したが）第三者委員会を立ち上げて、とくれば、悪夢の民主党政権と変わらない。しかも、その人選が不透明で、その内容や必須の事柄を理解しているのかどうか。

この女の子の生涯を台無しにしたのは、悪ガキだけにとどまらない。まず制止しなかった担任の教師の反応の鈍さ、国会風に旧民主党が言いそうな校長の任命責任。当然教育委員会は何をしていたのか。・・・ここでもっとも罪が重く、動きも鈍重な加害者たちの親・保護者は、転居を拒否し、おそらく謝罪も疎かだろうし、被害者の医療費の負担もほとんどしていないのではないか。

教育委員会も動きが緩慢。そのうち、みんな忘れて行ってくれるくらいに思っているのではないか。

この女の子の生涯賃金がいくらになるか知らないが、仮に1億で計算すると、これに医療費がついてくるし、何かの時にはパニック障害に陥

ったりする可能性があるから、その保証ないし謝罪金が上乘せされる。現時点で謝罪金を支払うつもりがあるかどうか知らないが、「知らぬ顔」は、まともな人間にはできないだろう。結局、主犯以外の4人で全部含めて1億数千万円が必要になる。つまりひとりあたり3000万から4000万。払えないというなら、家を強制的に売却させる。それでも足りないなら、親の給料の天引き。最低限の生活ができる程度までにする。それでも足りなければ、犯人たちが成人した時点から、天引き。・・・主犯は、引っ越ししたからといって逃げだせるわけではないから、2割増しで、同様のことをさせる。

これを民事裁判で認めさせる。悪ガキ5人のために、被害者となった女の子を思うと、5軒の家が崩壊してもやむなし。

俺が女の子の親だったら、一家中、同じ目にあわせてやるけど。

2019.07.30.

徒党を組んで、弱い者いじめをする、きわめて卑怯卑劣な「犯罪」である。この子に限らず、小学校や中学校、高校までもが、その風潮に染まってしまっている。刑事罰の対象になるし、それでも、第三者委員会なる教育委員会寄りの「第三者」が、有耶無耶にしようとしている。けっして許してはいけないと思うし、身をもってその罪の重さを知らしめるべきである。・・・いつから、日本はこういう犯罪を許容するようになったのだろう。・・・「社会が悪い」は通らない。悪いのは、犯人たちである。・・・これを阻止しようとしたら、体罰が一番確かだろう？

体罰は、教育委員会が否定しているにもかかわらず、ときどき「正義の体罰」ならともかく、アホが勘違いして問題になる。わが身つねって他人の痛みを知れ！は古来、常識だったのが、何事も無難に、という無能な教育委員会のために禁句になってしまった。

ほんまに鈍くさい教育委員会や。